

Traditional dance & roots songs of yaeyama

やいまぬうたと踊り

主催 **舞嘉利者**（ぶがりしや）

ぶがりしやとは、八重山方言で疲れたの意味
八重山の歌や舞踊でみなさんをぶがりのーし（疲れ直し）できれば…

日時 二〇〇三年十月十二日（日）

開場 午後一時 開演 午後一時三〇分

会場 横浜市社会福祉センター大ホール

神奈川県横浜市中区桜木町一の一

（JR・東急東横線・市営地下鉄「桜木町駅」より徒歩三分

野毛ちかみち 西出口経由）

会場電話 〇四五―二〇一―二〇六〇

料金 一五〇〇円（全席自由）

問合せ 受付電話 〇四五―七八五―八九九九（池城）

電子メール bugarisy@hotmail.com



やいまぬうたと踊り 舞嘉利者（ぶがりしゃ）

やいま（八重山）は、沖縄の南西部に位置する石垣島や西表島などの島々の総称です。「うたのくに」と呼ばれるこの島々には、古くから数多くの唄・踊りが継承され、今もなお生活の中に息づいています。

いつしかこの関東の地で、やいまを故郷とする者、やいまに魅かれてやまぬ者たちが集い、やいまの唄や踊りを楽しむユニット「舞嘉利者（ぶがりしゃ）」が生まれました。今回の公演内容は、今なおやいまの島々の祭事などで奉納されている演目や、かつて島人たちが労働の場面や月夜の

浜辺で唄い踊ってきたものです。

第一部では、やいまの代表的な曲の数々をご紹介します。第二部では「水とくらし」と題し、雨や水に関わりのある芸能を通して、人々の自然に対する願いや祈り、それからもたらされる喜びを構成してみました。第三部では月を愛でながら、人々が唄い踊り遊ぶ様を舞台に再現いたします。

ほんのひとときの間、昔の人々が自然と共に逞しく朗らかに暮らしていた様子をお伝えできたなら幸いです。

◎演目

第一部

赤馬節
赤またー節
鷲ぬ鳥節
独唱
小浜節
与那国しよんかねー節
ながなん節
馬ぬしゃ
黒島口説

第二部（水とくらし）

にちぬさんあいてい
うろんついでんぬジラーン
木バギ（製材の場面：ユンタメドレー）
多良間ユンタ
古見之浦ぬブナレーマユンタ
島廻りジラバ
波照間ぬ鳥節
ジツチユ
ンニシリ節

第三部（月遊び）

とうばらーま
猫ユンタ
そうじかち
与那国ぬ猫小節
真謝井戸節
チユイチユイ
イーヤル節
久葉ぬ葉ユンタ
川良山節
みなとーま
山崎ぬあぶじやーま節
ドウンタ
六調子
弥勒節・やらよう節

※当日のプログラムとは異なる場合があります。